

## スバルエンジン バルブクリアランスの調整

スバル EX、KX エンジンをカートで使用される場合、10～15 時間位走行を目安にバルブクリアランスをチェックすることをおすすめします。

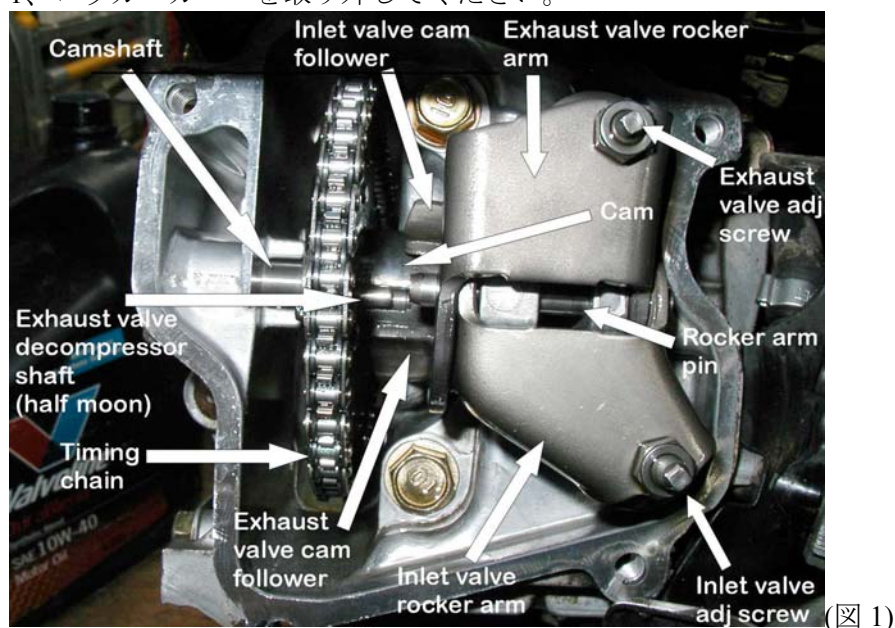
バルブクリアランスの調整はエンジンが冷態時（冷えている時）に行うのが基本です。

暖まった状態で行うと『広め』に調整されてしまいます。

### 【バルブクリアランス調整】

手順

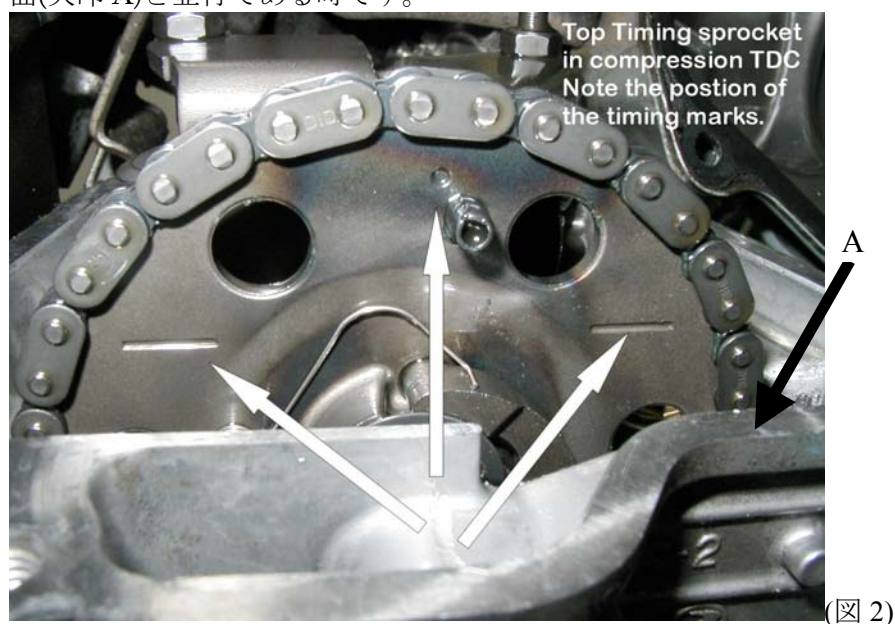
1、ロッカーカバーを取り外してください。



2、プラグを取り外してください。

3、圧縮上死点(TDC)にクランク軸を回転させてください。

上死点はカムスプロケットに刻まれているタイミングマーク(水平線、図2矢印)がヘッドの合わせ面(矢印A)と並行である時です。



TDCはドライバー等をプラグ穴から入れて、そっとピストンヘッドに触れて、クランク軸を回すことでも感じる事が出来ます。



(図 3)

4、シクネスゲージを使用して、バルブクリアランスをチェックしてください。(図4)  
エンジン冷態時の吸気、排気クリアランス推奨値 0.12~0.15mm

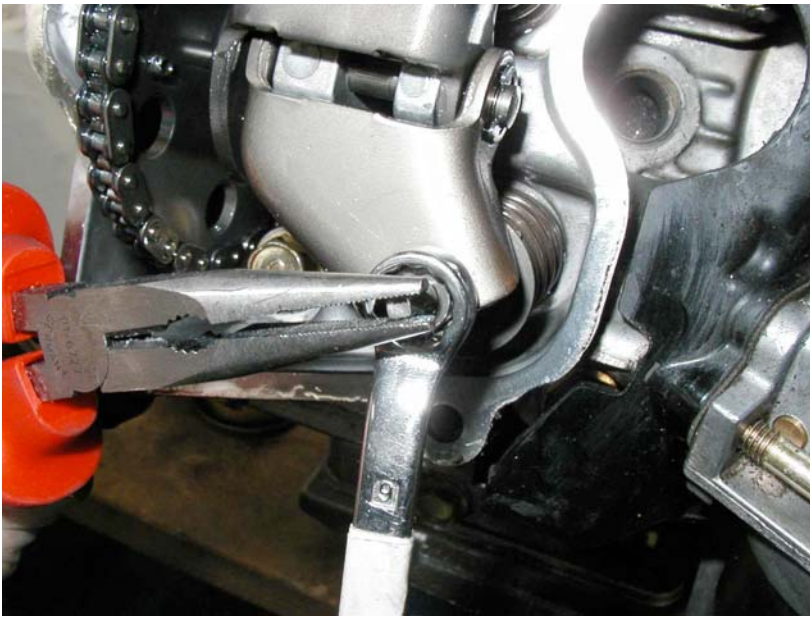


(図 4)

5、アジャストスクリュー(面幅9mm)のナットを緩め、ゲージを入れたままアジャストスクリューを回して、隙間を調整してください。

カートで使用する場合、隙間は推奨の上限値0.15mmを狙って調整するとよいでしょう。

ナット締め付けトルクの推奨値 5.0-7.0N・m (50-70kgf・cm)



6、バルブクリアランス調整後、クランク軸をまわして、もう一度バルブクリアランスが適当か確認してください。

出来れば10時間毎くらいに、また、季節が変わるごとのチェックを薦めます。

**【参考トルク】**

ロッカーカバー締め付けトルク	5.0-7.0N・m (50-70kgf・cm)
スパーク・プラグ 再締め付け時	23.0-27.0N・m (230-270kgf・cm)